

西川光二郎 にしがわ ひろじょう 評論家。明治九年四月、千九百在兵庫縣生れ、昭和十五年十月、千、二百歿（八七—一九〇）。筆名光二郎、白熊生、西川光次郎、西川生、西川白熊等。札幌農學校を経て東京專門學校卒。明治三十四年社會民主黨創設に参劃。二十七年平民社に加入するも、大逆事件後精神修養家に轉じ、のち『白熊道話』を創刊。婦人運動家西川文子は妻。

著譯書『人道之偉人』（西川光次郎名、合著・東京評論社）坂井義二郎編、明治三十四年五月十九日中清堂書店）、『人道之戰士カールマルクス』（同、明治三十五年四月十日中清堂書店）、『英國労働界の偉人ヨンバタンズ』（同、明治三十五年七月十七日片山清刊）、『富の感制』（再版）（同、明治三十八年一月二十三日平民社）『平民文庫』、

『社會主義の詩』（同、合著・堺利彦編、明治三十九年四月十一日由分社）、『心懷語』（同、明治四十三年十月十五日警報社書店）、『悪人研究』（明治四十四年七月二十四日洛陽堂）、『トローチキ行録』（西川光次郎名、編著、明治四十五年五月二十日内外出版協會）『偉人研究』（）、『續悪人研究』（大正二年二月二十三日洛陽堂）、『神道綱要』

（西川光次郎名、大正二年十月二十日白月社）『現代百』現代百『救世軍』（同、大正二年十一月十日白月社）『現代百』現代百『宗教叢書』（）、サンフォード・ベンネット著『實早老豫防法』（同、譯、大正四年五月十七日三友堂書店）、『斷食療法』（同、大正五年二月二十三日北文

館）、『生活の力と好む道徳』（各白用道徳）

（同、大正六年五月二十日北文館）、『心理療法

全書（病に克つ力の出し方）』（大正八年九月十



二百愛善社）、『神佛の御利益調々』（大正八年七月十日、一松堂書店）、『活くる道』（大正十五年）

一月十五日北文館）、『論語心解』

（昭和八年十月）『白雲道話社』、

『論語・孟子の語』（昭和八年）

月）二十日春陽堂『國民修養講話』、

『報知講話』（合著・報知新聞社編、昭和九年四月五日報知新聞社）、

『斯くして活路は開けた』（西川光一郎著、昭和九年十一月）

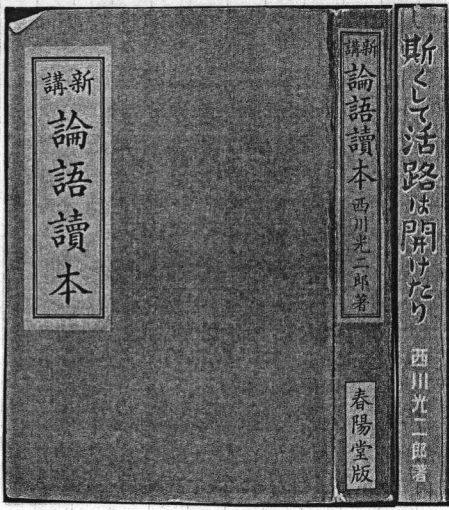
『四書五經の語』（昭和九年十一月）

十八日自刊）、『新講話讀本』（昭和

十四年二月）二十日春陽堂書店）、『修

養道話』（昭和十五年二月）二十九日中

子社書房）、『斯くして活路は開けた



陽堂書房）、『小學十回講話』（昭和十五年十一月十日自働道話

社）、漢著『入神第一』（昭和十八年

十一月一日子洪の道話社）、同『講演

第一』（昭和十七年五月）二十一日子洪

の道話社）等。

